

かんきょう立山

環境に配慮した「エコライフ」で
地球温暖化防止に努めましょう！！

第 3 0 号

発行: 令和6年2月
編集: 立山町環境保健衛生協会
住所: 立山町上金剛寺210
ホームページ: kankyotateyama.jp

当協会は、立山町の全世帯を会員として組織し、運営している団体です。
「快適できれいな生活環境をめざして
豊かな水と緑あふれる美しい町



健康で明るい町 立山」をスローガンに、
ごみの分別活動・不法投棄の防止・指定河川の清掃・害虫駆除・地球温暖化防止活動
・食品ロス対策を推進しています。

◇ 事業報告



● リサイクル活動について

令和5年2月から11月までの立山町リサイクル還元金の合計額は約277万円でした。

リサイクルにより各支部に還元される金額

- アルミ: 100円/kg
- スチール: 10円/kg
- ペットボトル: 10円/kg
- ビール瓶: 5円/本

● 環境巡視活動について

各支部にて、4月から12月まで41回実施し、2,588個の投棄物を発見・回収しました。

● 環境衛生活動について

● 衛生害虫駆除

当協会では、各支部に薬剤散布機を貸し出しています。5月から9月までに9支部の60集落で散布機による害虫駆除が実施されました。

● 川をきれいにする運動

町内河川の内11指定河川で清掃活動が実施され、5支部で延べ204名の方が参加されました。

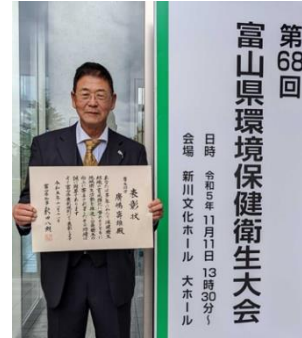
● 一斉清掃活動

9支部の35集落で一斉清掃活動が実施され、合計1,180名の方が参加されました。

● 第68回富山県環境保健衛生大会参加

令和5年11月11日に第68回富山県環境保健衛生大会が魚津市の新川文化ホールにて開催され、多年にわたり保健衛生組織の育成強化、地域衛生活動の推進及び公衆衛生向上に寄与された功績により、当協会の広嶋寿雄(ひろしま ひさお)会長が県知事賞を受賞されました。また、地球温暖化防止活動に関するポスター・壁新聞に作品応募された県内児童の中から、立山町より次の8名の方々が県連合会長賞を受賞されました。

◇ 県知事賞(厚生部門功労)受賞 ◇



広嶋寿雄会長(会場)

● 普及啓発推進事業(県連合会長賞)

- 🌸 最優秀賞(ポスターの部)
釜ヶ淵小学校 6年 林 幸汰郎さん
- 🌸 最優秀賞(壁新聞の部)
立山中央小学校 4年 菅原 美味さん
- 🌸 優秀賞(壁新聞の部)
立山小学校 4年 間野 允稀さん
利田小学校 4年 岡田 綺星さん
(共同作品) 4年 田島 涼花さん
4年 碓井 雅さん
- 🌸 佳作(ポスターの部)
利田小学校 5年 藤井 心愛さん
立山中央小学校 5年 宮本 琉那さん



【県連合会長賞】最優秀賞・優秀賞の皆さん(会場)

◇ 地区活動紹介

< 下段支部 > ～ポイ捨てをしない!～



下段地区は、下段、古川、金剛寺、上金剛寺、大窪開、一本木・川原木、向新庄、坂井沢、榎町、榎、あかね台、十七区、柿の木沢の計 13 集落、918 世帯で構成されております。活動としましては、各地区のリサイクル資源回収、不燃物・小型家電回収、下段地区一斉クリーン作戦及び下段地区を東部・中部・西部に分け、各区長で環境巡視パトロールを実施しております。

皆さんが清掃活動しているところを紹介します。柿の木沢地区の不燃物・小型家電回収は、11 名から 15 名の当番制で仕分けを行っていますが、今年度より町の回収が隔月から毎月となり、以前より 30 分程度早く作業が終わるようになりましたので助かっております。ただ、未だに、スプレー缶の穴を開けていないことや、コンクリート類の投棄に困っております。当番制で苦労して作業をし、全世帯が分け方・出し方を理解していると思われませんが、徹底できていないのが不思議です。対策としましては、回覧で注意喚起を図り、徹底できるように努力しております。環境巡視パトロールは 4 月から 10 月までに毎月行い、3 地区で持ち回りしています。一例として、西部地区では早朝に区長 5 人でパトロールしていますが、スーパー農道の歩道部で沢山のタバコの吸い殻・トレイ・ペットボトル・空き缶等の投棄物を発見・回収しました。何処の方かは特定できませんが、マナーの悪い方がおられます。町民の皆さんに、このようなパトロールを実施している事を認知していただき、ポイ捨てをしない、させない人が増え、ポイ捨てが無くなる事を信じて今後も活動を行っていきます。(下段支部代表理事 松本 記)



清掃作業を終えたところ

◇ 研修会報告

～役員研修会を、3年ぶりに開催～



横江頭首工にて見学

コロナ禍により中止していた役員研修会を 11 月 14 日と 15 日に 3 年ぶりに開催し、理事 8 名及び職員 1 名が参加しました。初日は常西用水土地改良区(略称:常西用水)を施設見学し、2 日目は称名滝、立山カルデラ砂防博物館及び立山博物館に行き参りました。左の写真は横江頭首工ですが、常願寺川から富山市と立山町に水を供給する拠点施設です。その他、小水力

発電施設(写真右)や佐々成政ゆかりの石づみ堤防跡など、常西用水のご担当者様に案内していただきました。私たちは、日常的に生活や農業で水を利用しておりますが、先人の知恵のお陰で恩恵を受けていることを学びました。



小水力発電施設見学

協賛企業紹介

(株)フジムラ富山工場様

環境整備の役割として、社会インフラ普及に全力で頑張ります。

立山町東野 31

☎ 463-1011

◇ コラム

～『まえどり』って何だろう?～



皆様は、『まえどり』という言葉から何を思い浮かべますか。多くの方は、結婚式の前に写真を撮る「アレ」の事を思われるのではないのでしょうか。本誌の表面でも紹介しましたが、ポスター部門で最優秀賞を受賞された林幸汰郎さんの作品(右)をご覧ください。

『まえどり』の『とり』は、何を取るのか解られたと思います。世界に食料が不足している国がある一方、日本では食べられる食品の年間 523 万トン(令和 3 年度調査)が廃棄されております。日本の食料自給率が 38%(令和 4 年度調査)である事を考えると、「**なんてもったいない!**」となるのは当然だと思われま。富山県の平成 28～29 年度調査では、食品ロス(廃棄される食品)の内、手付かずの食料が 69%でした。スーパーマーケットなどに並んでいる食料品のパッケージに記載してある『賞味期限』とは、品質の劣化が比較的遅い食品に表示されている「おいしく食べられる期限」であり、それを過ぎても直ぐに食べられなくなるわけではないということです。食品ロスについて、まずは関心を持つ事から始めてみませんか。

(統計等については、『とやま食品ゼロ作戦』のHP <https://foodlosszero.jp/> より抜粋)



釜ヶ淵小学校 6 年 林幸汰郎さんの作品